

## 目的

高校生がごみ拾いをスポーツとして競い合うことによって、海洋ごみ問題への意識を醸成させ、自分ごととしてアクションを起こす人を増やす。

- ・「スポGOMI」という高校生が熱量高く取り組める仕組みによって、より多くの高校生を巻き込み、海洋ごみ問題に対して興味喚起を促す。
- ・さらに、海洋ごみ問題を自分ごと化し、次のアクションを起こす人材が生まれるように働きかける。

## 目標

- ① 昨年より5エリア増やし40道府県で予選大会を開催。それぞれのエリア代表を決め、2023年度の高校生ごみ拾い日本一を決める
- ② 大会で生まれている高校生同士のドラマを映像化し、競技としてのスポGOMIを盛り上げる。ネット配信やテレビ局への素材提供に繋げる

## 2023年度実施内容のまとめ

### 実施①



内容：スポGOMI甲子園・予選大会の開催  
場所：全国40道府県

### 実施②



内容：エリア大会優勝校による表敬訪問  
場所：全国40道府県

### 実施③



内容：スポGOMI甲子園・全国大会の開催  
場所：東京都墨田区

### 実施④



内容：「熱闘! スポGOMI甲子園」の制作・配信  
場所：インターネット (Youtube・Twitter等)

## 量的成果 (事業の拡がり)

- ① 41大会を開催し、2,625名・341校、831チームが参加し、2,495.805kgのごみを回収
- ② 兵庫県の高校で大会参加の希望者が多く、校内予選を開催し57名が参加
- ③ セブンイレブン・日本釣用品工業会より100万円の協賛を獲得 (2023年度)。来年度はさらに、日本旅行・ネスレ日本・イオンが協賛を検討中。

## 質的成果 (次なる展開への芽)

- ① スポGOMI甲子園の出場経験者が高校を卒業した後も、一般のスポGOMI大会に参加してくれる率が高くなっている
- ② 「今年の大会はいつですか?」との問い合わせが多く、毎年恒例の学校行事としてスポGOMI甲子園を位置付けてくれている学校が多くなっている
- ③ 当初は調整に時間の掛かった予選大会優勝校による首長への表敬訪問だったが、今や自治体の中で恒例となって来ており、とても協力的になっている

## 2023年度 課題点

- ① 予選大会の開催が全体的に予選期間の後半に集中してしまった
- ② コロナ時より学校行事が急に増え、大会の予定を立て辛そうだった
- ③ 猛暑の中での開催時にどのような熱中症対策を講ずるか

## 2024年度 改善点

- ① 大会の分散化を計るため、予選大会の開催期間を延ばすことを検討する
- ② 恒例の学校行事となるため、学校との連携を密にするなどの対応をエリア事務局へ促す
- ③ 大会当日の気温と湿度で競技時間を調整するなどのルールづくり

# 報告資料 予選大会の様様

## 岩手県大会



6月10日 (土) 参加12チ-△36名

## 島根県大会



6月17日 (土) 参加13チ-△33名

## 山梨県大会



6月25日 (日) 参加29チ-△87名

## 兵庫県大会



7月15日 (土) 参加28チ-△84名

## 鳥取県大会



7月15日 (土) 参加23チ-△69名

## 広島県大会



7月15日 (土) 参加24チ-△72名

## 長崎県大会



7月16日 (日) 参加55チ-△165名

## 大阪府大会



7月16日 (日) 参加18チ-△54名

## 静岡県大会



7月17日 (月) 参加39チ-△117名

## 神奈川県大会



7月22日 (日) 参加30チ-△90名

## 山形県大会



7月23日 (日) 参加15チ-△45名

## 福井県大会



7月25日 (火) 参加20チ-△60名

# 報告資料 予選大会の様様

## 宮崎県大会



7月29日(土) 参加30チ-ム90名

## 滋賀県大会



7月29日(土) 参加18チ-ム54名

## 埼玉県大会



8月4日(金) 参加10チ-ム33名

## 石川県大会



8月5日(土) 参加15チ-ム45名

## 熊本県大会



8月19日(土) 参加28チ-ム84名

## 大分県大会



8月20日(月) 参加12チ-ム36名

## 沖縄県大会



8月19日(土) 参加8チ-ム24名

## 新潟県大会



9月2日(土) 参加10チ-ム30名

## 福岡県大会



9月2日(土) 参加22チ-ム66名

## 山口大会



9月3日(日) 参加21チ-ム63名

## 鹿児島県大会



9月10日(日) 参加28チ-ム84名

## 三重県大会



9月10日(日) 参加21チ-ム63名

# 報告資料 予選大会の様様

## 香川県大会



9月10日 (日) 参加34チ-ム102名

## 北海道大会



9月10日 (日) 参加23チ-ム69名

## 富山県大会



9月16日 (土) 参加9チ-ム27名

## 青森県大会



9月16日 (土) 参加17チ-ム51名

## 岡山県大会



9月23日 (土) 参加14チ-ム42名

## 秋田県大会



9月24日 (日) 参加39チ-ム117名

## 高知県大会



10月1日 (日) 参加13チ-ム39名

## 千葉県大会



10月7日 (土) 参加24チ-ム72名

## 岐阜県大会



10月8日 (日) 参加17チ-ム51名

## 宮城県大会



10月9日 (月) 参加10チ-ム30名

## 佐賀県大会



10月15日 (日) 参加14チ-ム42名

## 長野県大会



10月14日 (土) 参加8チ-ム 名24名

# 報告資料 予選大会の様様

福島県大会



10月14日（土）参加22チー ム66名

愛媛県大会



10月21日（土）参加25チー ム75名

京都府大会



10月22日（日）参加21チー ム63名

愛知県大会



10月29日（日）参加12チー ム36名

2023年11月12日  
スポGOMI甲子園 2023 全国大会

# スポGOMI甲子園 2023 全国大会

2023年11月12日(土) UDCすみだ 千葉大学墨田サテライトキャンパス

参加者:40チーム120名、ごみ総量:383.52kg



# 報告資料 全国大会の様様



## スポGOMI甲子園 2023



## スポGOMI甲子園 2023

総参加チーム数: 876チーム

総参加者数: 2,625名

ごみの総重量: 2,495.805kg

# メディア露出

## 各メディア露出

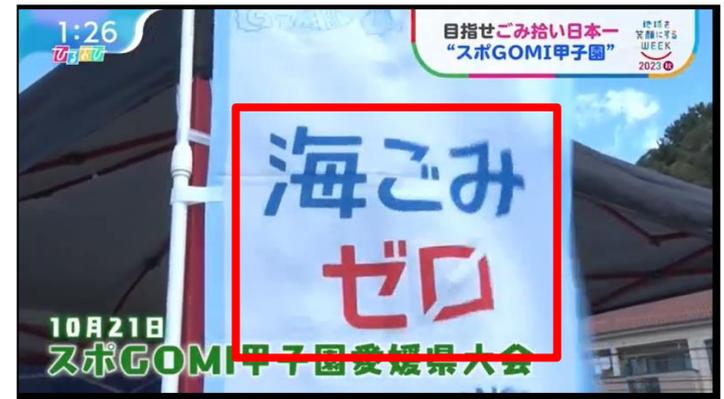
- ◇TV放送回数 計**41**回（エリア局放送：**32**回）
- ◇41大会総参加者数 **2,625**名
- ◇新聞掲載回数 計35社**45**回
- ◇ごみの総重量**2,495.805**kg
- ◇WEB掲載 計**689**回

広告費換算額：テレビ 359,191,800円 新聞 10,729,351円 **TOTAL 369,921,151円**

# テレビ露出

エリア	日付	媒体名
全国	7月7日	テレビ東京「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ」
全国	8月15日	NHK「リフォーマーズの杖」
全国	11月7日	TBS「THE TIME」
全国	11月7日	TBS「ひるおび」
全国	11月13日	テレビ朝日「木下容子ワイドスクランブル」
全国	11月14日	TBS「THE TIME」

## ▼全国 TBS「ひるおび」



## ▼全国 TBS「THE TIME」



## ▼全国テレビ東京「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ」



## 7/13 テレビ朝日「木下容子ワイドスクランブル」



## 報告資料 エリアでの効果的な露出

全国大会終了後、翌日に優勝チームの地元大分で熱戦の様子を放送、翌週に開催された大分県知事への表敬訪問もニュースとして放送。効果的な露出が生まれた。



11/13(月)大会の様子を  
OBS「イブニングプラス」内にて放送



11/24(金)表敬訪問の様子を  
OBS「イブニングプラス」内にて放送

その他エリア局放送:計32回



# WEB掲載メディア

## スポGOMI甲子園リリース

@DIME (アットタイム)

福島民報社

フジテレビー!!

財経新聞

現代ビジネス

産経ニュース

All About NEWS

iza

BIGLOBEニュース

BEST TIMES (ベストタイムズ)

ORICON NEWS

STRAIGHT PRESS

ジョルダンニュース!

Infoseekニュース

NewsCafe

おたくま経済新聞

BtoBプラットフォーム

ニコニコニュース

スポGOMI甲子園リリース  
41件

その他、◎エリア大会レポート  
計689掲載

## 埼玉大会

Techable (テッカブル)

朝日新聞デジタルマガジン

産経ニュース

Iza

News fafe

Infoseek ニュース

30min.

ORICON NEWS

CREA WEB

SEOTOOLS

エキサイトニュース

@niftyビジネス

マピオンニュース

30min. サンゼロミニッツ

エキサイトニュース

JBpress

とれまがニュース

ハピママ\*

ウレぴあ総研

財経新聞

BtoBプラットフォーム

フジテレビー!!

Traicy (トライシー)

東洋経済

TOYOKEIZAI  
ONLINE

excite  
ニュース

新産経  
THE SANKEI  
NEWS

PRESIDENT Online

現代ビジネス

ORICON NEWS

Asahi  
Shinbun  
Digital  
Magazine Land I

財経  
新聞

時事通信社

## 大会の裏に潜む選手たちの素顔に迫り、Youtube配信。スポGOMI甲子園のファンをつくる企画

### 特集① 校内予選の様態を取材

配信中

スポGOMI甲子園エリア予選への参加希望者が多く、全国で唯一、学校内で予選大会を開き、上位入賞チームにだけ、予選大会への出場権を与える、神戸の須磨学園高校。昨年の兵庫県代表を勝ち取った強豪、須磨学園の強さの秘密に迫り、校内予選の様態、そして兵庫県代表を決める大会での彼らの奮闘ぶりを放送。



スポGOMI甲子園 兵庫県大会

### 特集② 初出場のチームを取材

配信中

愛媛県宇和島東高校バレー部の女子3名。彼女たちは今シーズン怪我のため満足に試合に出れず内1名は3年生でラストの年。「試合には出れないがスポGOMIなら！」と背中を押しをしてくれたのが部活の顧問。出場したスポGOMIワールドカップで見事に愛媛県代表を勝ち取る。怪我でもやもやしていた気持ちが一気に吹っ切れその勢いでスポGOMI甲子園愛媛代表を狙う。



スポGOMI甲子園 愛媛県大会

### 特集③ リベンジを狙うチームを取材

配信中

山口県大会にて2位だったが、繰り上げで全国大会へ出場した昨年。初の全国大会では8位という結果に涙をのんだ。今年の予選大会では自力で山口県代表を勝ち取り、全国大会へ向け準備を始める3人。昨年味わった全国の壁。どんな戦略で大会に望むかを話し合い、優勝を狙う。そんな山口県代表の全国大会での活躍ぶりを放映。



スポGOMI甲子園 山口県大会

## 生徒の自主的な活動とエピソード

### エピソード 01

別々な高校に進学した中学の幼馴染3人が、1年生の頃からスポGOMI甲子園に参加。昨年は準優勝で涙を呑む。3年生となった最後の年、優勝を目指し日頃から登下校などにごみ拾いを心がけ出場。見事、沖縄県代表の座を掴む。



沖縄県代表 Snny



スポGOMI競技中の様子



### エピソード 02

スポGOMI甲子園熊本県大会に参加したことで、今まであまり考えることがなかった海のごみの問題について調べてみるきっかけとなった。調べてみて海のごみの大半が陸地からのごみだという事を知った。何か出来ることが無いかと考えた結果、学校の登下校時に目についたごみを必ず2個拾うことを始めた。



スポGOMI競技中の様子

### エピソード 03

「絶対優勝するぞ！」とスポGOMI甲子園北海道大会に挑んだチームが、見事に優勝し北海道代表の座を手にした。表彰式では、優勝したチームによる全国大会への意気込みをが語られ、その際、オリジナルアイテム賞を獲得したチームより「このアイテムで優勝して来て下さい！」と渡されるという高校生同士の交流が生まれた



スポGOMI表彰式の様子

## 生徒の自主的な活動とエピソード

### エピソード 04 山形県代表

それぞれの生徒が、自信をつけたのか、堂々としてきました。内陸に住んでいますので、海洋ごみってピンとこなかったようですが、大水などがあると、ごみが川へと流れだし、やがて海洋ごみになっていくということをしっかり学びました。そのような繋がっている世界というものをしっかり描けるようになっていっていると感じます。また、欠席がちだった生徒の登校しぶりもなくなり、居場所や自信って本当に大事ななと思います。



### エピソード 05 大阪府代表

私たちの意識より周りの人の意識が変わった気がします。学校の周りからゴミがなくなってきました。海のごみには海外から流れ着いたものもたくさんあるようですが、陸のゴミは日本人の責任と考え、小中学生を募集してごみ拾い大会を開催しています。



### エピソード 06 滋賀県代表

環境問題の課題解決のために、普段お世話になっている南港地区に感謝を伝えたいという気持ちで出場しました。大阪大会前には、事前の視察や点数の高いゴミについて調べるなどの工夫をした。大会後には、ごみの多い場所や場所によってごみの種類が違ってくるのがわかったと言っており、改めてポイ捨ては絶対にいけないことだと実感した。海や街を汚しているのは人間なので、責任を持って海や街をきれいにしていきたいと感じている。また、全国大会出場にあたり、今度は大阪ではなく日本に感謝を伝えたいと思っている。



## エリア代表校による首長への表敬訪問



### 兵庫県須磨区長への表敬訪問

スポGOMI甲子園兵庫県代表となった須磨学園による、須磨区長への表敬訪問を実施し、兵庫県代表になったことを報告した。区長より「優勝のポイントは何?」と聞かれ、「兵庫県大会の会場だった須磨海浜公園周辺の当日の風の向きを調べ、海洋ごみが溜まりそうな場所に直行してごみ拾いを行った」と回答。区長がとても感心されていたのが印象的だった。

#### <代表チームのコメント>

ごみ拾い（ボランティア）はいつでも誰でもできると考えていましたが、意外と今までしていなかったことに気づきました。そんな中スポーツの要素を取り入れたごみ拾いがあると知り、非常に興味が湧き、出場することを決めました。大会当日は、漂流物に狙いを定めごみを拾っていきました。会場付近は、風が西から東へ吹いているので、東側にたまっているのではと想い、東の端から海岸沿いに攻めていった結果、優勝に繋がりました。参加した後に、海洋ごみ問題について調べたところ、海に出てしまったごみでクジラなどの海洋生物が苦しんでいることを知り、このような活動を続けていきたいと強く思いました。全国大会では兵庫県代表として、一生懸命ごみを拾い、後悔なく兵庫県に戻ってきたいと思います。僕たちは高校3年生で、スポGOMI甲子園には来年以降出場できないけど、後輩に想いを託しながら、違った形でも活動していければと思います。

## スポGOMI甲子園山口県大会



### スポGOMI甲子園 山口県大会 優勝校「カクガリーズ」

昨年度の山口県大会にて優勝したチームが、スポGOMI甲子園全国大会の日程と部活の試合が重なってしまったため出場できなくなり、2位のチームが繰り上げで全国大会へ出場することに。その時2位だったのが今大会優勝した「カクガリーズ」だった。今年は自力での全国大会出場を誓い出場した結果、見事、優勝を勝ち取った。繰り上げで出場した昨年の全国大会では8位。

「今年は自力で勝ち取った全国行きの切符。山口県代表として全国優勝を目指します！」と意気込みを語っていた。

全国大会の結果、6位入賞。「3年生なのでスポGOMI甲子園への出場は今回で最後、優勝したかったが残念です。次はスポGOMIワールドカップ山口県代表を目指します！」と話してくれた。